

## “ほし”がみちびく、わたしたちの未来

昔の人は夜空にかがやく星の位置関係から、自分がどこにいるのかを知ろうとしていました。

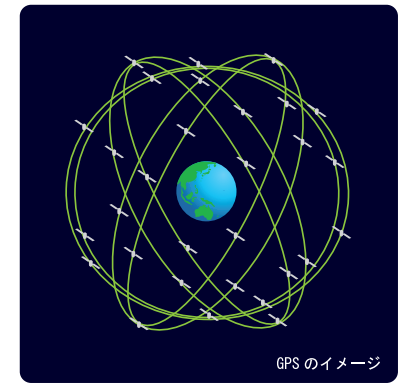
今わたしたちは宇宙をとんでいる衛星（ほし）から、自分のいる位置を正確に知ることができます。

でも、一体どうやってこれらの衛星（ほし）から自分の位置を知ることができるのでしょうか？

## 現代の“ほし”



しゅんてんちやうえいせいしやうき  
準天頂衛星初号機  
「みちびき」



## 衛星をつかった測位システムって？

みなさんがドライブに行くとき、何気なく利用しているカーナビゲーション。今走っている位置が表示されるのは、人工衛星のはたらきによるものです。もっとも代表的な測位システム（位置を測るシステム）は、アメリカが開発したGPS（Global Positioning System）で、地球の周りをまわる約30機のGPS衛星で構成されています。

わたしたちはこれらの衛星からの電波を受信することで、いつでもどこでも自分の正確な位置を知ることができます。日本の準天頂衛星初号機「みちびき」は、そんなGPS衛星たちの仲間です。

## 日本にフォーカスした「もうひとつのGPS衛星」に

GPS衛星は全世界をカバーするように飛びますが、山間部や都心部の高層ビル街では、衛星の電波が十分に届かないことがあります。特に日本は、他の国と比べて国土の大部分を山地が占めており、少ない平地には都市が集中しているため、さえぎるものがない真上に衛星を配置する必要があります。そこで開発されたのが準天頂衛星初号機「みちびき」です。

「みちびき」は、日本のほぼ真上（準天頂）に長時間見えるよう工夫されたためずらしい軌道を飛んでいます。

